

なつた

編集・発行
成田市教育委員会 / 〒286-8585 花崎町760番地 ☎22-1111大代表



がっこうのほし

学校発

とわたしたちのメッセージ

飛び出そう！世界へ

今回は、豆記者のみなさんに「飛び出そう、世界へ」(学校発)というテーマで記事を書いてもらいました。学校で行われるさまざまな活動の中から、考えたこと、やってみたいことを、世界に向かってメッセージに託してもらいました。

ハローから始めよう 国際交流

ぼくたちの成田小では、毎日英語を使って歌ったり、会話やゲーム

ムなどをしています。ぼくはこれからは、外国の人たちとの交流がとて大切だと思っのでがんばっています。外国の人たちと話すると、心の底からワクワクして、新たな一歩が踏み出せそうなので、楽しみです。



先日、日ごろの勉強の成果を試すため、参道で外国人に英語で話し掛ける活動に参加しました。声を掛けると、見ず知らずのぼくたちに笑顔でこたえてくれる人がたくさんいます。中には、学校まで一緒に来て、日本の遊びをして

くれた人もいました。

みんな同じ人間なんだということが分かりました。みなさんも外国の人を見掛けたら、まず「ハロー」と言ってみたらどうでしょう。
成田小 城之内 駿輔

英語は世界をつなぐ

中台小では、学年ごとに週2回の英語活動の時間があります。授業では、国当てクイズをしたり、自己紹介をしたりします。低学年から高学年まで、遊びを取り入れながら楽しく学んでいます。
成田市には国際空港があり、多くの外国人が訪れます。今はまだ会話ができませんが、中学生になつてある程度自信がついたら、恥

ずかしがらずに外国人と英語で会話をしてみたいと思います。
世界には、われわれ日本人よりも、英語を話す人が大勢います。外国人と二人でも多く友達になれるように、英語の勉強をがんばりたいです。

中台小 湯浅 英貴



国際交流のまち 成田へ

ぼくは去年、サッカーの交流で韓国へホームステイに行きました。韓国の人は、ぼくを温かく迎え入れてくれました。
食事の時には、茶わんを持たないなど、食生活や生活文化が違うので、いろいろと大変な思いをしました。言葉はよく通じなかった

けれど、英語の簡単な単語やジェスチャーなどで交流しました。努力すれば分かり合えるものだと思感しました。

ぼくたちは 日本の玄関口に住んでいます。これからも、来日する世界中の人に対して、言葉が分からなくても温かい態度で接することが大切だと思います。

中台甲 福島 岳大



いま、わたしたちにできること

わたしたちは6年生になつて総合的な学習の時間に、学区を流れる江川の自然を調べました。江川は思ったより汚れていました。5月末には修学旅行で、那須の堀川の沢下りをしながら、自然を調べたり、源流を調査しました。



川の上流は流れが速く、水がきれいでした。このきれいな水が、人の住むところまで流れてくるとどうして汚れてしまうのでしょうか。汚さないためには何が必要なのでしょう。

日本は、世界で一番の水の消費国と言われています。世界には水不足で困っている国もたくさんあります。

わたしたちは、水を汚さないような工夫を心掛けるべきだと思います。

公津小 大石 真帆

おじいちゃんのスイカ

ぼくは、国語の学習で「高齢化社会」という言葉を知りました。新聞でみると、千葉県の高齢化

率は14・2%で、20年後には28・2%になるそうです。

年をとると、介護が必要な人も多くなります。もし、おじいちゃんや体が動かなくなったら、ぼくが介護してあげたいと思います。でも、まだまだおじいちゃんも元気に畑でスイカを育てています。おじいちゃんのスイカを、世界中の人に食べてもらえたらうれしいです。

世界中のおじいちゃんが集まって、畑仕事を一緒にやったらどんなに楽しいことでしょう。そんなことができる世界になるように、ぼくもがんばりたいです。

八生小 清宮 裕貴



We love English!

成田中では英語学習に力を入れ



ています。いつもの授業のほかに、英語の楽しさに触れる授業も行っています。

授業は「E-mail挑戦」「英語で歌おう」「外国人と話そう」など6種類の中から選んで受けることができます。

特に会話をする時には、過去形や未来形など、授業で学んだことを自然に使うことができ、英語力が身に付いていることが実感できます。

これから、ALTの先生方に積極的に英語で話し掛け、英語力をみがき、世界の人人々と会話ができるようになりたいと思います。

成田中 助 絵里子

英語でホームパーティーをして

5月26日、ぼくたちは総合的な学習の時間に、英語でホームパーティーをしました。ALTのドリン先生と外国人のお友達が、ぼくたちのために、おいしいビュッソンを作ってきてくれました。ぼくたちは、今まで習った英語を使ってあいさつや質問をしたり、質問に答えたりしました。英語で話をするのができてうれしかったです。でも、それ以上の会話をすることができなかったのは残念でした。

これからもたくさん学んで、さらに英語ができるようになりたいです。そして、外国人のお友達をつくって仲良くなりたいです。

久住第一小 神山 比呂紀





オーストラリアU・15 フットサルチームとの 交流試合

5月15日、遠山中にオーストラリアのフットサルチームが訪れ、授業参観をしたり、交流試合を行いました。

一番印象に残ったのは、体育館での交流試合です。初めに、3年生のサッカー部と試合をしましたが、前半はほぼ互角でしたが、後半では先輩たちの猛攻があり、6対2で勝ちました。次の2年生との試合では、前半は遠山中が負け

ていまして、後半の20分で逆転することができました。

勝ち負けはともかく、同じ世代の外国の中学生との試合を目的の当りにして、とても感動しました。白熱した試合を終えた後も、国境を越えた喜びを共にすることができたからです。

遠山中 並木 孝哉

中国の伝統的な 遊びを伝えたい

わたしは、4年生まで中国上海の日本人学校にいました。その時上海の子どもたちとの交流を通じて、中国の伝統的な遊びをいくつか教えてもらいました。

例えば、投げた羽根を落とさないように足でけり続ける毛羽根けりがあります。これは、もともと少林拳法の練習に取り入れられていたものだそうです。

また、日本のこまと形が違い、2本の棒を使っ

てまわす中国こまがあります。そのほかに、将棋やたこ揚げなどがあります。これらの遊びを

みんなに伝えたいと思い、ボランティアチームを作って、低学年に教えています。

中国だけでなく、いろいろな国の遊びを調べていきたいです。

神宮寺小 内山 千晶



しっかり分別 すすめようリサイクル!

わたしたちの学校では、自分たちの住んでいる地域をきれいにする運動を行っています。その時、ごみ拾いをして分別に迷ったことがあります。

成田市では、可燃、ビン、カン、ガラスなど6種類にごみが分別されています。それはリサイクルを推進し、環境を保護するためです。



外国には全く分別をせず、どんな物でも同じごみ箱に捨ててしま

世界にほこれる 印旛沼へ

「ごみがいっぱいだ」と思ったぼくは、印旛沼クリーンハイキングに参加することにしました。印旛沼は、世界でも水の環境が悪化している沼だと聞いていましたが、これほどひどいとは思いませんでした。水の色は、赤く染まっていました。「ぼくたち人間がこんなに汚してしまっていたんだ」ぼくはショックを受けました。

今、印旛沼はたくさんの方たちの協力でみるみるきれいになっていきます。もっとたくさんの方にこの事実を知ってほしいと

う国もあるそうですが、そういう国では、そのまま埋め立ててしまおうそうです。

しかし、わたしはごみの分別を徹底し、リサイクルを推進して地球の環境を守っていくことが大切だと思っています。

今後、わたしはリサイクルについて積極的に勉強していきたいと思っています。

西中 出山 千晶

思います。そして、世界にほこれる印旛沼にするために、これからも努力していこうと思います。

橋賀台小 白戸 遥祐



よみがえれ 清い流れ



「清い流れの尾羽根川」と校歌にも歌われている身近な川。「本当にきれいなのかな」そんな疑問からわたしたちの学習が始まりました。

実際にいろいろな方法で水質検査をしたり、生き物を調べてみる。少し水が汚れていることが分かりました。また、こみや家庭排水が主な原因になっていることも分かりました。

尾羽根川の水は利根川を流れ、やがて太平洋に注ぎ、世界へと通じています。未来に、そして世界に向かつて、いつまでもきれいな尾羽根川を残すために、わたしたち一人ひとりができる小さなことから少しずつ取り組んでいきたい

言葉を超えて

久住第二小 鈴木 詩織

「2月、日本の文化を紹介する国際交流活動を体験しました。」

ゲストのボブさんの発音は、ニツク先生と違って、何を言っているのかが分かりません。でも、一生懸命聞いたら英語が分かるような気がしました。

友達の利保ちゃんも、つるの折り方を日本語で教えました。日本語が分かるはずがないのに、ゲストの人たちは一生懸命聞いていま



した。まるで心が通じ合っているようでした。日本人、外国人に關係なく、一生懸命分かるうと思えば、どんな言葉でも通じてしまふんだと思いました。

わたしは、これからも言葉を超えて、世界の人々と触れ合い、仲良くしていきたいと思っています。

新山小 松岡 真悠

国際人への第一歩

わたしの学校では、夏期に中3・高1の希望者による英国語学研修を行っています。これは、世界各国から同年代の生徒たちが集まり、生活を共にする異文化交流の一環です。

英国の学生寮で約2週間生活し、授業はもちろん、仮装パーティーや自然観察など楽しいイベントもたくさん行うそうです。

他国の人たちとは最初は照れくさくて何も話せなかったようですが、日を重ねるうちに自然と仲良くなれたそうです。そして、ふだんの生活では味わえない貴重な体験ができたとのことでした。



この英国語学研修は、国際人への第一歩だと思います。わたしもいつか参加してみたいと思っています。

成田高校付属中 京増 奈都美

奉仕活動の輪を広げよう

5月27日、わたしたちの学級では、遠山公民館で奉仕活動をしました。みなさんにあいさつをしてから、公民館の外の植え込みや駐車場の周りの落ち葉はきをしました。

遠山小では年2回、学級ごとに計画を立てて活動の内容を決めています。主に地域や学校周辺の美化に取り組んでいます。これまで

も、通学路や神社などに出向いて、いい汗を流してきました。奉仕活動をするこによって、地域の人と交流を深めることができます。何よりも、みなさんに喜んでもらえるのがうれしいです。これから世界中の子ともたちに、奉仕活動の輪が広がればいいなと思います。

遠山小 竹村 ひとみ



あとがき

豆記者のみなさんの記事から、学校でのさまざまな活動を通して、世界に関心が向いている様子が伝わってきました。

世界に向けて、みなさんのメッセージが届くといいですね。次代を担うみなさんの今後の活躍に期待したいと思います。